

令和 6 年 8 月 22 日
函 館 開 発 建 設 部

共創を通じた道南地域の未来について考える ～第9期北海道総合開発計画キックオフシンポジウムを開催～

「第9期北海道総合開発計画」※が令和6年3月に閣議決定され、北海道においても同年7月に新たな「北海道総合計画」が策定されました。

二つの計画では、他で代替できない北海道の価値を最大化すること、地域の力を高め地域外の力を活かし北海道の飛躍につなげること、豊かで安心して住み続けられる地域を創ること、そして、多様な主体と「共に北海道の未来を創る」ことを目指しています。

函館開発建設部では、道南地域で地域づくりに取り組んでいる方々を招き、共創を通じた道南地域の未来について考える機会として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

※北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして、その時々我が国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

- 1 シンポジウム名称 「道南地域共創シンポジウム ～共に創る、道南の未来～」
- 2 開催日時 令和6年9月22日（日）13:00～15:30
- 3 会場 松前町ふれあい交流センター（松前郡松前町唐津51-1）
※開催当日に「シンポジウムのライブ配信」を実施します。ライブ配信会場は別紙1のとおり。
- 4 プログラム 別紙1のとおり
- 5 定員 シンポジウム会場参加 60名、オンライン参加 250名
- 6 申込方法

- ・参加を希望される方は、9月12日（木）17時までに次のURLもしくはQRコードからお申し込みください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/tiiki_sinkou/eqp9bq00000000h0.html



- ・取材を希望される報道機関の方は、別紙2の取材申込書を9月18日（水）17時までに以下メールアドレス宛に送付ください。

hkd-hk-kouhou@gxb.mlit.go.jp（函館開発建設部広報官宛て）

- 7 主催 国土交通省北海道開発局函館開発建設部、北海道渡島総合振興局、松前町、奥尻町

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 地域連携課

課長 やまだ けんた 山田 研太（電話 0138-42-7740）

補佐 たじま やすひろ 田島 康宏（電話 0138-42-7740）



函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

道南地域共創シンポジウム

別紙1

共に創る、道南の未来

令和6年3月 第9期目となる「北海道総合開発計画」を閣議決定
7月 北海道が長期的な展望を示す新たな「北海道総合計画」を策定

二つの計画では、他で代替できない北海道の価値を最大化すること、地域の力を高め地域外の力を活かし北海道の飛躍に繋げること、豊かで安心に住み続けられる地域を創ること、そして、多様な主体と「共に北海道の未来を創る」ことを目指しています。

本シンポジウムでは、道南地域で地域づくりに取り組んでいる方々をお招きし、共創を通じた道南地域の未来について考えます。

* プログラム *

イントロ
ダクション

第9期北海道総合開発計画の紹介
新たな「北海道総合計画」の紹介

基調
講演

人口減少時代における
関係人口の創出と共創による地域づくり
五十嵐 智嘉子
(一般社団法人北海道総合研究調査会 理事長)

パネル
ディスカッ
ション

共に創る、道南の未来
五十嵐 智嘉子 / 関口 冬樹 / 川瀬 美弘 / 山田 かおり

パネル展

会場 まちの駅 TENOHA松前(東急不動産)

* 講師・パネリスト *



講師・コーディネーター

五十嵐 智嘉子
一般社団法人北海道総合研究調査会 理事長



パネリスト

関口 冬樹
東急不動産株式会社 松前事務所長



パネリスト

川瀬 美弘
ひやま漁業協同組合青年部奥尻支部長



パネリスト

山田 かおり
縄文DOHNANプロジェクト顧問
山田総合設計株式会社地域ソリューション部課長

※講師・パネリストの紹介は裏面にございます。

令和6年(2024年)
9月22日(日)
13:00~15:30

会場

松前町ふれあい交流センター
(北海道松前郡松前町唐津51-1)

以下の会場でライブ配信します。

- ・マグロまつり会場
- ・まちの駅 TENOHA松前(東急不動産)
- ・道の駅「北前船松前」

定員

会場参加 60名

オンライン参加 250名

※当日のライブ配信会場で視聴する方は申込不要

申込

函館開発建設部HPで受付
(受付開始)

令和6年8月22日(木) 14時

(申込締切)

令和6年9月12日(木) 17時

※詳細は裏面をご覧ください

同日開催！
松前城下マグロまつり



(写真提供)一般社団法大北海道まつまえ観光物産協会

奥尻町の特産品も出展

* 講師・パネリストの紹介 *



講師・コーディネーター

五十嵐 智嘉子

一般社団法人北海道総合研究調査会
理事長

札幌市出身。昭和59年、地域に根差した調査・研究を行うシンクタンク、一般社団法人北海道総合研究調査会に研究員として入会。調査部長、専務理事を経て平成24年より現職。介護保険制度の創設、地域共生社会の仕組みづくり、人口減少社会に関わる調査・研究等に取り組む。平成26年8月から2年間、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局に参事官として出向。



パネリスト

関口 冬樹

東急不動産株式会社
松前事務所長

千葉県出身。令和5年から、東急不動産株式会社の松前事務所に就任。同社は、松前町との間で風力発電事業と地域活性化に関する協定を締結し、同町と連携しながら地域振興とまちづくりに取り組む。

また、地域の次世代担い手を育成するため、松前高校の生徒との地域活性化プロジェクトも手がける。



パネリスト

川瀬 美弘

ひやま漁業協同組合青年部
奥尻支部長

奥尻町出身。平成16年から漁業に従事。平成31年4月、ひやま漁業協同組合青年部奥尻支部長。水産資源の減少に危機感を抱き、「獲る」から「育てる」漁業への転換に取り組む。これまで資源として十分に活用されていなかったホソメコンブに着目し、その養殖と有効成分を活用した商品開発にも挑戦する。



パネリスト

山田 かおり

縄文DOHNANプロジェクト顧問
山田総合設計株式会社地域リレーション部課長

函館市出身。札幌の短期大学を卒業後、群馬県内の企業に入社。群馬県人の“郷土愛の深さ”を目の当たりにし、自身も地元函館の魅力に気づく。平成17年、函館市へUターンし、地域活動を開始。令和元年、「縄文の心」が地域を繋げる鍵だと直感し、「縄文DOHNANプロジェクト」を設立し、代表就任。令和6年から顧問。

* 申込方法 *

函館開発建設部HPより申込みを受け付けます。

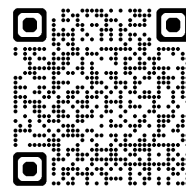
https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/tiiki_sinkou/eqp9bq00000000h0.html

(受付開始)令和6年8月22日(木) 14時

(申込締切)令和6年9月12日(木) 17時

【お問合せ先】 函館開発建設部地域連携課 0138-42-7740

(土日・祝日を除く8:30~17:15)



* アクセス *

自動車でお越しの方は「マグロまつり」の駐車場をご利用ください。

シンポジウム会場、パネル展会場の駐車場は使用できません。



函館開発建設部

取材申込書

道南地域共創シンポジウム ～共に創る、道南の未来～

送付先：hkd-hk-kouhou@gxb.mlit.go.jp（函館開発建設部広報官宛て）

お名前	ご所属	ご連絡先

※9月18日（水）までに申し込み下さい。

※本申込みに記載されている情報は、函館開発建設部が取材の相手方を確認する以外に使用しません。